

極楽寺だより No.85

お念仏のふるさと浄土宗



極楽寺

西暦:2026年
佛歴:2569年
開創:449年(1577年開創)
浄土宗鎮西派

浄心会 (写経とお念仏の会) 通常毎月第2土曜日10時から
(7/11)

台風一過で六月がスタートしました。この寺報を作成している頃には、おそらく梅雨入りも発表されていることと思います。蒸し暑い季節となりますので、どうぞお身体にはお気をつけてお過ごしください。さて、四月の御忌法要では、瀬戸田より別府信道上人をお招きし、お話を頂戴いたしました。その中で、お念仏の称え方や心構え(安心と起行)について、分かりやすくお説きくださいました。おさとりを開かれ、その道を示されたお釈迦さまは、ご入滅に際して「精進せよ」とお示しになりました。また、私たちの宗祖法然上人も、一枚起請文の中で「知者のふるまいをせずして、ただ一向に念仏すべし」とお示しされています。私たちは日々、何のためにお念仏をお称えするのでしょうか。その問いに対し、別府上人は「では、お念仏を称えなかつたらどうなるのでしょうか」と問いかけられました。お念仏は、称えたからすぐに何かを得られるというものではありません。しかし、称え続ける中で、少しずつ私たちの心や生き方を育ててくださるものでもあります。法然上人は「念仏に倦き(ものうき)人は無量の宝を失うなり」ともお示しくださいました。日々の暮らしの中で、お念仏を相続し、お互いに阿弥陀さまのお慈悲をいただきながら歩んでまいりたいものです。

阿^あ弥^み陀^だ仏^ぶと
心は西に
空^うつ^つせ^せみ^みの
もぬけ果てたる
声ぞ涼しき

極楽寺山の夕べ

今年も極楽寺にて「極楽寺山の夕べ」を開催いたします。
今回は、プロの怪談師・熊田クラシックさんをお招きし、子どもから大人まで楽しめる怪談をお届けいたします。
テレビや動画では味わえない、生の語りならではの迫力と臨場感。夏の夜、お寺の静かな空間で聞く怪談はまた格別です。
ご家族やご友人とご一緒に、ぜひご参加ください。今年の夏、極楽寺で特別なひとときを過ごしてみませんか。
※どなたでもご参加いただけます。ご家族やご友人お誘いあわせのうえ、お気軽にお越しください。 **無料です**

7月5日(日)
16時~17時

護持会費納入のお願い

(前期分)

令和8年度前期分の会費6,000円のご納入をお願い致します。

前期分は9月30日(水)までにお振込み下さい。

(振込手数料はお振込される方のご負担となります)

(振込口座) 福山市農協瀬戸支店
支店番号8047-602
口座番号2216079
極楽寺護持会 鶴山豊教

本年度 極楽寺役員(総代・世話方)さん(敬称略)

檀信徒の皆様本年度もよろしくお願いいたします

- *総代長* 宮宗 達矢(津之郷)
- *総代* 井上 勝司(志田原)・今井 基博(下郷)
- *世話方* 井上 一夫(山北)・長迫 弘康(津ノ尾)・神原 千晴(山北)
- 井上 達美(志田原)・宮宗 和史(志田原)・今井 達海(筒井)
- 宮宗 裕(山北)・今井 道登(明王台)・三谷 晴昭(別所)
- 井上 寛(志田原)・大目 博(津之郷)・今井 宣久(志田原)
- 三谷 雄三(山北)
- 岡田 誠二(神村) **新任**・西山 清 **新任**

発行元: 720-0838 広島県福山市瀬戸町山北740

電話: (084) 951-2178 FAX: 084-999-1577

携帯080-3902-0030 (24時間対応)

E-mail: fukuyamagokurakuji2178@gmail.com

LINE: @633aurbd(IDが変更になりました)(ご登録お待ちしております)

くらしに生きる 仏教のことば 其の2

愛別離苦

仏教には「四苦八苦」という言葉があります。人生における「生・老・病・死」の四つの苦しみに、

- ・愛別離苦（あいべつりく）…愛する者と別れる苦しみ
- ・怨憎会苦（おんぞうえく）…恨み憎む者と会わなければならない苦しみ
- ・求不得苦（ぐふとつく）…求めるものが得られない苦しみ
- ・五蘊盛苦（ごうんじょうく）…心や身体が思うようにならない苦しみの四つを加えて八苦といいます。

その中の愛別離苦とは、愛する人との別れの苦しみです。それは人生を歩むうえで、誰もが避けて通ることのできない悲しみでもあります。

作家倉田百三は、随筆『人生における離合について』の中で、

「人間が会いたまた離れるということは人生行路における運命である。そしてこれは心に沁みる切実なことである」

という言葉を残しています。出会いがあるからこそ別れがあり、別れがあるからこそ、そのご縁の尊さを知ることができます。別れの悲しみがなくなることはありません。しかし、その悲しみを抱えながらも、お念仏を申して阿弥陀さまにおまかせしていくところに、私たちの歩む道があるのではないのでしょうか。大切な方との別れを通していただいたご縁を胸に、お念仏申す日暮らしを続けてまいりたいものです。

工事報告

四月の御忌法要において工事開始のご報告をさせていただいておりました、山門前フェンス下（旧極楽寺参道石段）の排水溝工事が、友三建設様により施工され、このたび無事に完了いたしましたのでご報告申し上げます。工事ではU字溝の整備に加え、一部隙間が生じていた石垣にも特殊な目地材を施工していただき、細部にまで配慮の行き届いた丁寧な工事となりました。

今後も境内の安全確保と環境整備に努めてまいります。ご理解とご協力を賜りました皆様に心より御礼申し上げます。



御忌法要御礼

去る四月二十六日、宗祖法然上人八百十五回忌の御忌法要を厳修いたしました。

ご参拝くださいました皆さまに心より御礼申し上げます。当日は多くの檀信徒の皆さまとともに法然上人のご遺徳を偲び、お念仏をお称えする尊いひとときを過ごすことができました。また、瀬戸田より別府信道上人をお迎えし、お念仏の称え方や心構え（安心と起行）について、分かりやすくお説きいただきました。さらに、お釈迦さまのお誕生日をお祝いする灌仏会（花まつり）もあわせてお勤めし、観音堂前では多くの皆さまに甘茶をかけてお祝いしていただきました。

法要後には護持会檀家総会を開催し、決算・予算ともにご承認をいただきましたこと、重ねて御礼申し上げます。皆さまのお支えによって、本年も無事に御忌法要をお勤めすることができました。心より感謝申し上げます。次回は八月の施餓鬼法要でございます。ご先祖さまへのご供養とともに、皆さまと一緒にお念仏をお称えできますことを楽しみにいたしております。



本堂内納骨堂「白雲殿」のご案内

「子どもにお墓の負担をかけたくない」

「将来、お参りしてくれる人がいなくなったらどうしよう」近年、そのようなご相談をいただくことが増えてまいりました。

極楽寺では、本堂の阿弥陀さまの真横に納骨堂「白雲殿」を設けております。

ご納骨後は、本堂において日々のお勤めや法要のなかでご回向を続けてまいります。お寺が責任をもってお預かりし、阿弥陀さまのお慈悲のもとで大切にお守りいたします。

ご自身のために、ご家族のために、将来の安心の一つとしてお考えいただければ幸いです。ご見学やご相談も随時承っております。

◆費用について(檀信徒)

1霊位 20万円より・2霊位 40万円より

※年間護持協力金 5,000円(任意)

(※既にご契約の方は、契約時の金額となります。)

